

他社との「合同訓練会」開催される!

の新
取
材
・
テ
レ
ビ
放
送
な
ど



「己」との闘い、「ライバル」との交流!

開催日 7月18日(水)~20(金)
会場 セイコーエプソン(株) 本社事業所
参加 富士電機エフテック(3)セイコーエプソン(2)
 ホンダエンジニアリング(2)、ミツバ(2) 計9名
競技 フライス加工は各社で実施し、仕上げ競技のみ

第50回技能五輪全国大会(長野県)に向けた訓練の一環として、セイコーエプソンさんのご協力により「抜き型」職種開催場所である諏訪市にて全国大会参加企業有志による、合同訓練会が開催されました。他社との交流試合は昨年12月の全国大会依頼でしたが、選手3名共日頃の訓練の成果を思う存分発揮し、今年10月の全国大会を想定したとても有意義な訓練会になりました。



Fe 技能研修生 五輪訓練所を見学



SW5F研修室

21世紀の商品づくりを支え、 職場の「核」となる人を育てる

Fe 技能研修所が三重地区から移動し、4月から埼玉地区(設備技術センター)にて新人教育をスタートしています。

技能研修所は1年を通し、もの作りの理論を学び実技にて実践・習得するカリキュラムが各専門コース毎に用意されています。年間プログラムの中には若手の



中山指導員

人格育成のための数々の行事も企画され、今回の技能五輪見学もその一つと位置付けされます。7月5日は13:00~15:00(2時間)と短い時間でしたが、五輪取組みの意義や想いを中山指導員から説明、訓練所にて実際の訓練状況を見学、製作した課題を測定する場所も設け、皆さんがより身近に五輪を感じ、直ぐ年上の先輩である五輪訓練生の活躍に興味を持って戴けるよう見学会を実施致しました。

【五輪挑戦の心構え】

時間との戦い、精度との戦い、失敗との戦い
妥協との戦い、環境との戦い … 『己』との戦い



2012五輪全国大会
10/24-28(長野県諏訪市)



北信

東信

中信

南信

4メーカーの9人合同訓練

「抜き型」本番の競技と同じ形式で

技能五輪
ぶらぶら
10月県内開催 わざまる

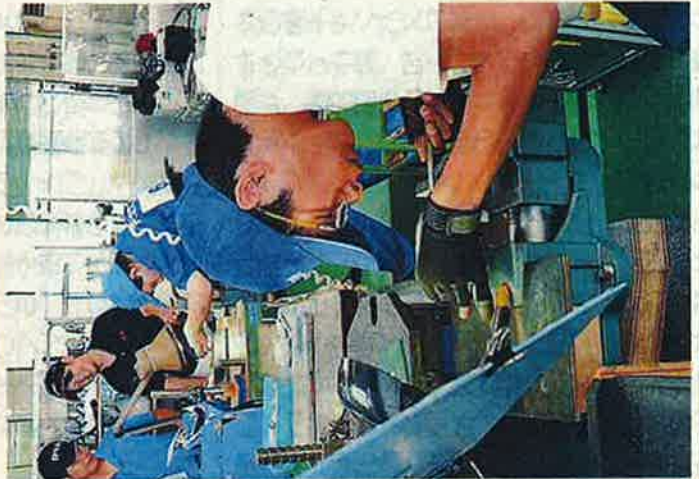
諏訪

諏訪市大和のデューエーションで19日、同市と松本市で10月26、29日に開かれる技能五輪全国大会に向けて選手を養成している回社を各大手メーカー4社の合同訓練があった。高精度のプレス金型を作る職種「抜き型」に出場を目指す9人が参加。開催まで3カ月余に迫った大会に向け、本番の競技と同じ形式の訓練で腕を磨いた。

合同訓練は本番をながらの雰囲気を経験して技能の向上を図る狙いで、全国大会前の恒例になっている。これはエーションの2人に加え、富士電機エレクトリック(埼玉真鶴幕市)、ホンダエニシテリング(栃木真芳賀町)、ミツバ(群馬真桐生市)から計4人が参加。選手は80〜100本ほどのやすりを使い分け、千分の1の単位の精度が求められる地道な

作業に根気強く取り組んだ。初出場を目指すエーションの高橋慎祐さん(20)は「緊張したが、楽しんで訓練ができた。これから問題点を一つ一つ克服し、本番では高得点を得たい」。同社から同じく初出場を狙う酒井平さん(19)も「最初は心臓がぼくぼくしたが作業をすすむうちに集中できた。加工の精度を高め、本番にはベストの状態で見たい」と話していた。

技能五輪は20歳以下の若者がさまざまな職種で技能レベルの日本一を競う。10月の大会は50回の節目で、県内では初開催。機械系その他、サービスマン・ファッション系を含む41職種の競技を予定している。エーションは昨年より出場職種を2つ増やし、抜き型を含む職種に計9人の選手を送り出す予定だ。



本番形式の合同訓練で、慣量にやすりを動かす選手たち